

令和6年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	新たな「移住・定住」プロジェクト事業
事業費	7,539,100円
取組内容	①情報発信の強化 益田で暮らしている人や活動している人取材し、その人たちの「想い」を発信している「MASUDA no Hito」ホームページ内に移住検討者向けに本市のライフキャリアの取組を紹介するサイトを開設した。サイトでは、市の紹介、お試し移住体験の募集、移住者・体験者の声などを掲載した。 ②交流の場の創出 1) 体験交流施設「ますだベース」を開設 空き家等を活用し、情報発信や多世代交流、移住検討者と住民との交流が可能な体験交流事業を実施。（Uターン者意見交換会、空き家バンク相談会、親子お試し移住体験の参加者とUターン者との交流の場の提供など） 2) 益田市のライフキャリア教育を体験できる「親子お試し移住体験」の実施 ・1回目は豊川地区をモデル地域として計画。 ・2回目は地区を限定せず、1泊2日の移住体験を計画し実施。
	   ①情報発信サイト ②-1) ますだベースイベントの様子 ②-2) お試し移住体験 ライフキャリア説明の様子
成果	①情報発信の強化 市の紹介やお試し移住体験の募集、移住者・体験者の声をサイトに掲載。あわせて、Instagramで有料広告を実施し、関東圏の子育て世代をターゲットに配信。16日間で726件の閲覧があった。 ②交流の場の創出 1) 体験交流施設「ますだベース」の活用 ・イベント（月1回）：11回開催 64名参加 ・シェアスペース：72回開設。152名利用（目標利用者数：120名） ・SNS情報発信：55回 2) 「親子お試し移住体験」の実施 ・1回目は参加者がなかったため未実施となった。 ・2回目は地区を限定せず、1泊2日の移住体験を実施した。 日時：令和7年2月28日～3月1日 ⇒市外から1組（5名）が参加（目標参加者数：県外から5名） ※当初2組の申込あったが、1組は体調不良により不参加
今後の事業展開	交流の場の創出については、事業内容や周知方法を再検討し、益田に関心を持つ方々が参加しやすく、益田の魅力を実感できる効果的な取組としていきたい。 また、本事業は、単独で実施するのではなく、他の移住・定住にかかる取組と関連付けながら展開することで、より高い効果を目指す。